



て、具体的な取り組み内容や主な成果について確認しました。

○管内における不登校の児童・生徒数の推移や県や市町村の教員委員会との連携について、状況を確認しました。

○地域教育推進協議会の具体的な活動内容を確認するとともに、県が検討している自殺対策条例案では「学校との連携」を掲げていることから、教育フォーラムを開催する際には、「いのちの大切さ」等をテーマとして取り上げてほしい旨、意見を述べました。

○教育事務所は、地域の教育行政の要であるので、知恵を絞って、各種事業にメリハリをつけて指導・助言に取り組んでほしい旨、意見を述べました。

### <吉田高等学校>

12月22日実施

○教育目標を実践するための授業改善等の取り組みについて確認するとともに、今後、少子化による学校の統廃合が進むことが予想されることから、授業改革や高大連携等の取り組みが必要である旨、意見を述べました。

○高校入試における出願状況をはじめ、卒業生の進路指導、クラブ活動の状況、学校評価の実施結果等について確認するとともに、キャリア教育の推進として実施している「富士山学」については、英語による発表を行う等、人材を資源として育成することが必要である旨、意見を述べました。



### <上野原警察署>

1月15日実施

○県境を接する地域を管轄する警察署として、交通事故や犯罪発生時等における県外の警察署との連携をはじめ、警察署協議会の委員から出された意見や要望について、取り組み状況を確認しました。



○管内における交通事故の発生状況（特に高齢者の死亡事故）を確認するとともに、飲酒運転は悪質であるので、しっかりと検挙してほしい旨、意見を述べました。

○振り込め詐欺等、各種犯罪の発生を抑制するための取り組み状況を確認するとともに、地域の住民が安全・安心して暮らせるよう、検挙率の向上等に取り組んでほしい旨、意見を述べました。



山梨県政の様々な課題と現状を鳥のように大空から俯瞰して率直な想いを皆様にお伝えします

Shirakabe Kenichi Column

白壁賢一コラム

Bird Eyes バードアイズ

## 「なにもしなければダメ」 大村先生の辛口の一言を胸に

明日は何が起こるか分からない昨今の目まぐるしい社会状況の中、昨年を振り返ってみると、私にとって大きな出来事として、大村智さんのノーベル生理学・医学賞の受賞を一番に挙げたいと思います。

その理由は、郷土山梨出身者初のノーベル賞受賞ということより、従来の受賞者とちよびり違った特異なキャラクターに感激したからです。その中味は並々ならぬ郷土愛と研究内容のわかりやすさではないでしょうか。山梨の農家に生まれた大村先生は、地元の小、中、高校、更には山梨大学という一地方大学で学びました。受賞の記者会見では「自分の今日があるのは、故郷と、そこで育った多くの思い出があるから」と語り、「勉強なんかあまりせず伸び伸びとやっていました」と笑顔で話されていました。

最高レベルの研究に取り組んでいる先生の中には、地方の大学を卒業した後、大都市の一流大学に進み、何かの賞を受

けた際の学歴を東大とか、京大、名大など超一流大学やその研究室を最終学歴として使いたがるとも聞いたことがあります。山梨大の後、理科大や北里大で研究に取り組んだ大村先生は、その正反対で、はっきりと「山梨で育ち学んだ事」「それと母から『何でもいいから、ひと(他人)のために働け』といわれ続けた事」と言っていました。受賞決定後の記者会見や講演会でも、もつぱら故郷のPRに触れているのにも感激しています。

但し、辛口の言葉もありました。帰郷した際の記者会見で「山梨をよくするためには～」との質問に「山梨の自然環境は素晴らしい。でも何もしていないたら良くなりませんよ」との発言も忘れられません。私は「何もしていないたらダメ」という、聞き流しやすいその一言を噛みしめながら議員活動にあたりたいと思っています。

山梨県議会議員

## 白壁賢一 活動レポート 【発行元】白壁賢一

Vol.33  
2016/2

明日の山梨を元気に!

もっともっと  
SHIRAKABE



撮影：白壁賢一 撮影場所：山中湖村長池地区



## 新しい年も豊かなふるさと創生へ 多くの課題、一つひとつ全力投球

2016年の新しい年を迎えました。

この年末年始は記録的な暖冬、そして大きな事件事故もなく平穏な新年を迎えることができました。

とはいっても、私たちのふるさと山梨にとって、本年も克服しなければならぬ多くの課題が待ち受けています。少子高齢化による人口減少対策、富士山噴火の防災計画の策定と推進、TPPへの県としての対策、観光産業の充実、富士山文化遺産登録後のユネスコへの報告、リニ

ア中央新幹線対策、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致等々多彩です。

県議3期目、その2年目を迎える私にとって一段と踏ん張っていかねばいけない年になりそうです。皆様からのよりよいご意見を伺いながら議員活動を全うしていこうと痛感しております。

山梨県議会議員

白壁賢一

●平成27年12月18日 山梨県行政委員懇話会

山梨県議会議員 白壁賢一【しらかべけんいち】

1960年生まれ、93年に33歳で旧河口湖町議に初当選、3期務める。2003年に富士河口湖町議に当選し2期、この間、議長などを歴任。07年に山梨県議会議員に初当選。自民党県民クラブに所属。

TEL 0555-73-3737 FAX 0555-73-3757

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1505

白壁賢一 公式サイト: <http://www.shirakabekenichi.jp/>

白壁賢一 E-Mail: [Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp](mailto:Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp)

「白壁賢一」で検索してください!

白壁賢一

検索

昨年5月に、県議会を代表して監査委員に選任されましたが、監査委員は、県議会の慣例として任期中は議会での代表質問や一般質問ができません。

富士北麓・道志地域を代表する県議として、県議会での質問で地域の諸課題の改善への取り組みを信条としていた私にとっては忸怩たる思いもあります。

しかし、県の各種事業が適正かつ効率的に執行されているかをチェックするのも重要な任務です。監査委員の任務と並行して、地域の課題への取り組みにも一層の努力を傾けてまいります。



### 第3回 監査委員活動報告(要約)

昨年10月からは、地域県民センターや保健福祉事務所等の出先機関に対する定例監査をはじめ、県立大学や県立病院機構等の財政的援助団体に対する監査が始まり、1月上旬までに出先機関12所属、財政的援助団体3団体の監査を行いました。監査を実施するに当たっては、各所属や各団体が所管する事務事

業の執行状況を確認するとともに、諸課題について具体的な意見や要望を述べました。

なお、これまでに実施した監査の概況については、下記のとおりです。

#### <山梨県立大学>

10月13日実施

○中期目標、中期計画が最終年度を迎えることから、達成状況や達成見込みについて確認するとともに、外部資金確保のための申請率が低いことから、積極的に自主財源の強化に努める必要がある旨、意見を述べました。



○外国人教員の在籍状況やネイティブの教員の必要性について確認するとともに、グローバル社会に対応するための語学力アップが重要であることから、大学の国際化の進展を期待したい旨、意見を述べました。

○公開講座の開催や産官民との連携について、取り組み状況を確認するとともに、特色ある教育を行うことにより優秀な人材を育成して欲しい旨、意見を述べました。

#### <富士・東部地域県民センター>

10月21日実施

○総合窓口業務について、納税証明書交付とパスポート申請の受付時間が異なっているため、窓口利用者への利便性の観点から、過去の経緯を確認する中で、見直しを検討してもらいたい旨、意見を述べました。



○管内の各出先機関を対象とする出納審査事務について、事務処理ミスの再発防止に向けた各所属への指導や会計事務担当者の能力向上のための取り組みについて、確認しました。

○東海地震等の大規模災害に備え、住民による自主防災組織の活性化等、地域防災力の強化を図るための取り組み状況や課題について確認しました。また、富士山の火山防災対策として、広域的避難のための計画を作る際には、机上の空論ではなく、実態に即したものにしてもらいたい旨、意見を述べました。



○南都留合同庁舎移転の概要とスケジュールについて確認するとともに、移転により県民サービスが低下することがないよう、移転を進める際には、関係部署との調整を適切に行うよう、意見を述べました。

#### <山梨県林業公社>

11月5日実施

○分収林の変更契約(分収割合の見直し、契約期間の延長等)について、進捗状況や課題を確認するとともに、公社の改革プランに基づき、変更契約の処理を計画どおりに進めることにより、債務の圧縮につなげてほしい旨、意見を述べました。



○林業労働センターの業務内容や本県における林業労働者の状況について確認するとともに、新たな林業の担い手を確保するためには、林業労働者の所得が上がるよう、林業や木材産業の付加価値が高まるような工夫が必要である旨、意見を述べました。

#### <水産技術センター>

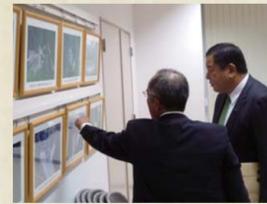
11月5日実施

○クニマスに関する生態解明や保全管理をはじめ、アユの生産マニュアル

ル、冷水病やカワウ対策等について、試験研究の取り組み状況を確認しました。

○試験研究機関課題の外部評価について、評価の具体的な実施方法や課題の選定方法、成果の活用状況について確認しました。

○道志川に放流したアユが途中から見られないという話があったので、原因究明の状況を確認するとともに、究明した結果を踏まえ、県土整備部等、関係機関に直接、状況を伝える必要がある旨、意見を述べました。



○新たな県産ブランド魚の開発について、取り組み状況を確認するとともに、国内のみならず、世界でも通用するような魚を考えてもらいたい旨、意見を述べました。

#### <深城ダム管理事務所>

11月6日実施

○ダムの長寿命化への取り組みをはじめ、洪水調節や大月市・上野原市への水道用水の供給状況、ダム見学者への対応等について確認するとともに、地域に貢献できるダムとして、施設の維持管理を適切に行うよう、述べました。

#### <富士・東部保健福祉事務所>

11月6日実施

○生活保護費返還金や貸付償還金に係る収入未済について、未収金回収に向けた取り組み状況を確認するとともに、税と同様、公平性の観点から、市町村とも連携する中で、償還に向けた取り組みを行うよう、意見を述べました。

○青木ヶ原樹海における自殺対策について、取り組み状況を確認するとともに、今後、樹海の良いイメージを発信していくことや財源を確保することが必要である旨、意見を述べました。

○生活保護費不正受給の防止策について確認するとともに、保護費の適切な支給に向けた取り組みを行うよう、意見を述べました。

○大規模災害時における医療・衛生面での対応内容や訓練の実施状況について確認するとともに、外国人観光客への援護対策について、言葉の問題を含めて、検討を行う必要がある旨、意見を述べました。

○地域包括ケアシステム構築の推進について、取り組み状況を確認するとともに、地域に根ざした支援の司令塔として、施策を検討してほしい旨、意見を述べました。

○災害配備時における合同庁舎内の暖房使用の状況について確認するとともに、災害等の場合には、臨機応変に対応してほしい旨、意見を述べました。

#### <山梨県立病院機構>

11月16日実施

○予備監査で指摘があった事項について、誤りが発生した原因と今後の対応策を確認するとともに、地方独立行政法人である一方、公的な法人でもあるので、職員への教育を通じて、職員のレベルや意識の向上を図り、限りなく誤りを少なくしてもらいたい旨、意見を述べました。



○第1期中期計画の評価結果をはじめ、重粒子線・陽子線治療やゲノム解析の状況、ドクターヘリの運航実績等について確認するとともに、県立病院機構は県民の命を守る最後の砦であることを踏まえた取り組みを期待する旨、意見を述べました。

#### <職員研修所>

11月16日実施

○女性職員の活躍促進をはじめ、若手職員の育成、事務処理ミスの再発防止に向けた研修等、各種研修の実施状況や研修参加者からの意見、市町村職員研修所との連携による効果について、確認しました。

○研修参加者からの満足度を100%に近づけるため、研修内容の充実に取り組むよう、意見を述べました。

#### <富士山科学研究所>

11月20日実施

○雪崩があった富士スバルライン4合目大沢駐車場における自然再生に関する試験研究の状況を確認するとともに、貴重な自然災害として取り上げてほしい旨、意見を述べました。

○富士山科学研究所連絡会議について、主な協議内容や協議結果の施策への反映状況を確認するとともに、この地域の研究が県全体のみならず、全国に発信できるものとなるよう、考えてほしい旨、意見を述べました。

○富士山の火山防災に対する情報発信や防災教育について、対応状況を確認するとともに、今年度、富士山火山防災情報室に設置された観測・監視システムを視察しました。

○富士山4合目の休憩所付近に研究所の教室を設置し、ネイチャーガイドの教育を行う等の取り組みにより、研究所の成果をアピールすることも考えられるので、研究所の有効活用の観点から検討してほしい旨、意見を述べました。

#### <富士工業技術センター>

12月1日実施

○織物業におけるOEM生産(委託者のブランドで製品を生産する方式)からODM生産(委託者のブランドで製品を設計、生産する方式)への展開について、具体的な支援内容と主な成果について確認しました。



○企業からの依頼試験の状況について確認するとともに、研究費の予算が限られている中で、より大きな依頼試験が獲得できるよう、取り組んでほしい旨、意見を述べました。

○山梨大学との連携による医療機器の開発や職員の能力向上について、具体的な取り組み状況を確認しました。

○国と同様、地域としても、「伸ばす者は伸ばす」といったメリハリのある予算の使い方が必要であることから、地場産業振興のため、努力してほしい旨、意見を述べました。

#### <富士・東部教育事務所>

12月1日実施

○確かな学力の定着・向上を図るための「授業改善プラン推進校」や、若手教員の資質向上を図るための「若手教員グロースアップ事業」について